

「第 6 回中学生交流プログラム」
インドネシア共和国への使節団派遣事業 団員募集要項

一般社団法人国際フレンドシップ協会（IFA）では、30 年間、「ジュニア大使友情使節団」（小学 5 年生から 20 歳未満の学生）の海外派遣を訪問先公的機関の後援で行っており、そうした経験により、「中学生交流プログラム」の実施運営を平成 22 年度から実施しています。IFA はまた、23 加盟国・地域から成る、アジア・太平洋国会議員連合（APPU : ASIAN-PACIFIC PARLIAMENTARIANS' UNION）中央事務局の運営を行っており、日本とアジア・太平洋地区の友好、交流の促進のために活動しています。

「第 6 回中学生交流プログラム」は、かめのり財団（2006 年 4 月に文部科学省認可、2011 年 4 月に公益財団法人となる。財団名は、創設者の康本健守（やすもとけんもり）の父・亀範（かめのり）に由来する）の活動資金により実施しています。かめのり財団の活動目的は、日本とアジア・オセアニアの若い世代との交流を通じて、未来にわたって日本と各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、その懸け橋となる人材の育成を図ることにあります。

中学生交流プログラムの第 1 回は、平成 21 年度（2009 年度）に中学生 7 名を中国に派遣、第 2 回は平成 22 年 10 月に中学生 8 名を韓国に、平成 23 年 10 月の第 3 回には中学生 5 名をマレーシアに派遣しました。第 4 回よりは招聘も開始し、台湾に中学生 7 名を派遣し（平成 24 年 10 月）、台湾から中学生 8 名を招聘（平成 24 年 11 月）、第 5 回は中学生 8 名をベトナムに派遣（平成 25 年 10 月）、ベトナムより中学生 8 名を招聘（平成 25 年 11 月）しました。

平成 26 年度の第 6 回は、近年、日本との友好協力関係がより緊密化しているインドネシア共和国に、一般公募により選抜した日本の中学生を派遣するとともに、インドネシア共和国の中学生を日本に招聘します。これにより同世代の中学生や現地の人たちと様々な形で交流し相互理解を図るとともに、外国語を学ぶことの意義や異なる文化間でのコミュニケーションの重要性、インドネシア共和国の歴史、文化、教育、社会等に対する理解を深めてもらいます。さらに、インドネシア共和国の中学生にも日本に対する理解を深めてもらいながら、両国の友好関係の促進を図ることが目的です。

なお、先の東日本大震災の被災者におかれては、派遣に際し、面接時の交通費他、参加費用を本事業で負担します。

■ 関係機関

支 援	公益財団法人かめのり財団
実 施	一般社団法人国際フレンドシップ協会
協 力	インドネシア日本語教師会
受 入	インドネシア共和国デンパサールの中学校

■ 実施期間

平成 26 年 10 月 5 日（日）前泊、事前研修

平成 26 年 10 月 6 日（月）～12 日（日）インドネシア共和国研修、6 泊 7 日

■ 団員 中学生 7 名（予定）※書類審査、面接審査を経て団員決定

■ 参加要件

中学校に在籍し、次の各項すべてを満たす者

- ①日本国籍を有する者
- ②事前研修からインドネシア共和国研修の全行程に参加できる者
- ③インドネシア共和国への渡航経験がない者

④心身ともに健康でインドネシア共和国での研修および生活に十分対応できる者

※既往症のある方は、健康診断書を提出していただきます。

⑤他国の文化を尊重し、現地の人々と積極的に交流する意欲のある者

⑥団員として、協調性のある行動ができる者

■参加費用

無料

※本事業は、別紙の日程に係る国際航空運賃、行程中の宿泊、食事および視察・見学に係る経費を負担します。

※ただし、以下の経費は参加者本人が自己負担してください。

①パスポート取得料（応募時点で取得していることが望ましい）

②健康診断料（参加決定後、提出の必要のある場合）

③海外旅行傷害保険（任意）

④自宅から成田市内の事前研修会場までの往路旅費

⑤成田空港から自宅までの復路旅費

⑥研修中の個人経費（電話代、お小遣いなど）

※なお、東日本大震災の被災者の方で参加が決定した際は、上記①～⑤についても本事業で負担します。

【応募から参加決定まで】

■応募方法

所定の参加申込書および作文を、下記に郵送もしくは持参してください。

※作文は「なぜ参加したいと思ったのか」、もしくは、「この研修旅行でどんなことをしたいと思っているか」等の題名をつけて、800字以内で必ず参加者本人が書いてください。

■応募締切

平成26年7月15日（火）必着

■選考

1. 書類審査の結果を、平成26年7月15日（火）以降に通知します。

2. 面接審査を書類審査通過者に次の通り実施します。

平成26年8月1日（金）東京都内の会場

※面接会場と時間は個々に連絡します。

※一般参加者（被災者の方以外）は、会場までの交通費は自己負担となります。

■決定

選考の結果は、8月中旬に通知します。

実施・運営／募集問い合わせ先

一般社団法人国際フレンドシップ協会

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-12 麻布台ロイヤルプラザ502号

中学生交流プログラム担当

電話：03-3582-3021、Fax：03-3582-3010

E-mail：staff@ifa-japan.org URL：<http://www.ifa-japan.org>

『第6回中学生交流プログラム』（インドネシア）（案）
一般社団法人国際フレンドシップ協会実施

月日	都市	時間		内容	宿泊
10/5 日	成田	午後		集合、結団式 事前研修（インドネシア事情、 国際マナーとエチケット、渡航 安全対策等）	成田ビューホテル 成田泊
10/6 月	成田 ジャカルタ	昼 夕刻	GA 専用バス	成田空港発 空路ジャカルタへ。 ジャカルタ（CGK）空港着 市内にて夕食後ホテルへ	ジャカルタ市内 ホテル泊
10/7 火	ジャカルタ	午前 午後	専用バス	市内中学校訪問 日本国大使館表敬訪問（予定） ジャカルタ市内見学 （歴史、文化、産業）	ジャカルタ市内 ホテル泊
10/8 水	ジャカルタ デンパサール （バリ島）	朝 午前 午後	専用バス GA 専用バス	ホテル発 ジャカルタ発 デンパサール着 バリ島市内見学 （歴史、文化、産業）	デンパサール ホテル泊
10/9 木	デンパサール （バリ島）	午前 午後 夕刻	専用バス	学校訪問・交流 （授業見学、日本文化紹介、 生徒との交流ほか） 日本文化紹介 ホストファミリー宅へ	ホームステイ泊
10/10 金	デンパサール （バリ島）	午前 午後		ホスト生徒と学校へ ホスト生徒と帰宅後、 ホストファミリーと過ごす	ホームステイ泊
10/11 土	デンパサール （バリ島） デンパサール ジャカルタ着 ジャカルタ発	朝 午前 昼 午後 夕刻 夜	車 専用バス GA GA	ホスト生徒と学校集合 学校発 市内見学（ホスト生徒同行） 市内レストランでホストファ ミリーとお別れランチ ホストファミリーと分かれ 市内見学後、空港へ 空港着後夕食 デンパサール発 ジャカルタ着 ジャカルタ（CGK）空港発	機内泊
10/12 日	成田着	午前		成田空港着 空港にて解団式 解散	解団式会場： 成田空港 団体待合室

*利用予定航空会社 GA：ガルーダインドネシア航空

*現地の見学先は、状況により変更される場合があります。

<p>あなたの現在の健康状態および過去にかかった病気、後遺症、持病、常備薬等</p> <p>●健康状態の良好な場合は「良好」と記入してください。</p> <p>※引率者が参加者の健康状態を把握し、病気等の際に迅速に対処するためにも詳しくご記入ください。</p> <p>なお、てんかん質の方、既往症のある方、視力・聴力が弱い方、乗り物酔いのひどい方は、特に医師に相談の上、応募ください。また、必要に応じ、健康診断書の提出をお願いすることがあります。</p>
交流会等で紹介したい日本文化、歌、特技等
所属している部、クラブ活動等
外国語（英語他）の学習歴、検定資格等の有無（※選考の条件にはなりません）
将来の夢や希望する職業
これまでの海外旅行や海外生活の経験の有無（訪問先、時期、期間等をご記入ください。） （※選考の条件にはなりません）
保護者欄：お子様を参加させる動機および本プログラムへの希望事項

<p>『誓約書』</p> <p>一般社団法人国際フレンドシップ協会 御中</p> <p>本プログラムへの参加に際し、下記のことを誓約します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上記応募用紙記載内容に相違ありません。 2. 本プログラムの趣旨をよく理解し、参加者としての誇りをもって自らを戒め、他人に迷惑をかけないように努め、団体生活の規律を守ります。 3. 本プログラム参加中は引率者の指示および判断に従うとともに、現地の諸法規を守ります。 4. 団体行動中、著しく規則に反し、団体生活および中学生としてふさわしくない行動をとった場合には、引率者の判断により、途中帰国を命ぜられてもそれに従います。 <p style="text-align: right;"> 応募者署名..... 保護者署名.....⑩ </p>

IFA 記入欄（下記は記入しないでください）

受付日：	受付番号：
書類選考：可・否 / 面接選考：可・否	
備考：	

